

令和3年度 学校経営方針

<本校を取り巻く環境>

- 開校147年に及ぶ歴史のある学校である。
- 福島市の西部に位置し、フルーツライン（県道5号）と高湯街道（県道70号）が交差する付近に在り、吾妻連邦を間近に望み、サクランボや梨などの果樹栽培が盛んな地域である。
- 全校生が80名弱、単学級、知的と情緒の特別支援学級がある。
- 2つの児童養護施設から20%弱の児童が在籍している。

◆基本的な考え

- 解のない時代をたくましく生き抜く力を育成するために、すべての子どもの学習権を保障し、安心して学ぶことができる学校

【すべての子どもの学習権の保障】

- 地域住民・保護者・こども・教職員のすべてが、庭塚小学校を「自分の学校」「みんなの学校」という思いを持ち自分事として、みんなで創り上げる学校

【みんなで創る庭塚小】

<解のない時代をたくましく生き抜く>

激しい変化、予測困難な時代は正解が一つではなく、他者と納得解を見出していく力が必要である。すでに、「新型コロナウイルス」の出現により、変化に積極的に向き合い、柔軟に対応していく力を発揮せざる負えない現在、「たくましく生き抜く力の育成」に最善を尽くす。

<すべての子どもの学習権を保障する>

地域の子供が通う公立学校であることの意味について再確認し、誰一人として取りこぼすことなく、学校に通い学ぶことを最優先し、そのための支援体制や環境整備に、全力を尽くす。

<安心して学ぶことができる学校>

学校は、子供にとって伸び伸びと過ごせる楽しい場所ではないといけない。特別に支援を要する子供も含めて、子供一人一人の異なる興味や関心・特質を個性と捉え、学校が、すべての子供にとって「安心な居場所」になるよう最善を尽くす。

<「自分の学校」「みんなの学校」という思いをもつ>

学校は、長い間、その地域で大切にされ、地域の人々を育てきた「地域の宝」である。「地域の宝」である学校に、地域住民・保護者・子ども・教職員のすべての人々が、自分事として関わることが大切にする。「庭塚小学校」が「自分の学校」「みんなの学校」となるよう最善を尽くす。

子ども達の教育のために、実効性のある教育課程編成を！

・ 目的を重視 ・ 共通理解を図る ・ 計画—実践—評価—改善

全職員で作成する「庭塚小学校グランドデザイン」

- ・ 発揮したい力を明確にし、全教育活動に繋げる。
- ・ 教科横断的な資質・能力を明確にし、各教科等に繋げる
- ・ 誰一人取りこぼさない教育を目指し、意識化・体制化を図る